



議会だより

ピッパッ

第102号

2017年

4月26日

発行



【定例会】...P2~3

条例改正、補正予算他

【予算特別委員会】...P4~6

【一般質問】...P7~10

- ・いきいき交流センターの整備等の推進と活用
- ・建築業の現状と住宅施策
- ・ハートタウンはほろの賃貸料改定と今後の展望
- ・公共施設マネジメント計画の取り組み
- ・公共交通機関の見直し

【常任委員会報告】...P11~12

ありがとう・さようなら

羽幌保育園

羽幌保育園の最後の卒園式・閉園式
(3月25日撮影)

ぜひ議会の傍聴にお越しく下さい

次回の定例会は **6** 月です

■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会事務局 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

◎報告－1件 ◎議案－29件

◎発議－5件 ◎同意－2件

◎一般質問－4名(5件)

第3回定例会

平成29年3月7日～10日

平成29年度町政執行方針
町長 駒井久晃



平成29年度教育行政執行方針
教育長 山口芳徳



廃止条例 2件
一部改正条例 14件

【主な改正された条例】

○特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する条例
〔監査委員(識見)について、
監査業務の複雑化や高い専門
性を考慮し、月額報酬を、現
行より3万5千円増額する〕
○羽幌町スクールバス設置条
例の一部を改正する条例
〔羽幌町立羽幌保育園の閉園
に伴う、スクールバス運行内
容の変更〕

○羽幌町集会所条例の一部を
改正する条例
〔今年度をもって上羽幌集會
所を廃止するため〕

○羽幌町へき地保健福祉館条
例を廃止する条例
〔平成29年3月31日で羽幌町
焼尻へき地保健福祉館を廃止
し、天売へき地保健福祉館を
用途変更するため〕

○羽幌町デイサービスセンター
の設置及び管理に関する条例
の一部を改正する条例
〔平成29年3月31日をもって
羽幌町いきいきデイサービス
センターを羽幌町デイサービ
スセンターに統合〕

○羽幌町企業振興促進条例の
一部を改正する条例
〔中小企業者等に対する支援
を拡充し、地域経済の活性化
を図る〕



【主な補正内容】

■一般会計補正予算
△1億893万円
・医師確保PR事業補助金
△120万円

・地域おこし協力隊員報酬
△300万円
・一時預かり事業業務委託料
△60万円
・予防接種委託料
△1148万円

■羽幌町国民健康保険事業特
別会計 △1476万円
・特定健康診査委託料
△83万円

■下水道事業特別会計
△7039万円
・水洗便所改造等補助金
△637万円
※△は減額補正

【発議】

○議会・行政改革特別委員
会を設置し、議会改革の必要
性、運営等の基準を見直し、
議会活動のあり方や議員間で
自由に討議する機会を増やす。

【同意】

○教育長の任期満了に伴い、
教育委員長と教育長を一本化
した新たな制度により、山口
芳徳氏を任命することに同意
した。

○羽幌町固定資産評価審査
委員会委員の任期満了に伴い
本間範子氏を選任した。

【臨時会】

(2月2日)

第1回臨時会
■一般会計補正予算
634万円

・給食センター厨房排気ダク
ト清掃業務委託料等

○債務負担行為の追加補正
給食センター施設管理事業
3132万円

(2月16日)

第2回臨時会

■羽幌浄化センター監視制御
設備更新工事請負契約の締
結
8208万円

○一般会計補正予算
9万円

■羽幌町下水道事業特別会計
補正予算 △1622万円



平成29年度予算を可決

予算総額は **101億3410万円**

一般会計 72億2100万円

特別会計 29億1310万円

平成29年度各会計予算は、本会議において慎重に審議しました。一般会計、特別会計合わせて前年対比△1億2530万円（△1.2%）減額の101億3410万円となり、すべて原案のとおり可決しました。

会計名	予算額	前年度予算額（補正前）	前年対比	採決結果	
一般会計	72億2100万円	72億9700万円	△1.0%	全員賛成	
特別会計	国民健康保険事業	12億円	13億400万円	△8.0%	全員賛成
	後期高齢者医療	1億1900万円	1億1840万円	0.5%	全員賛成
	介護保険事業	10億6000万円	9億6000万円	10.4%	全員賛成
	下水道事業	4億7300万円	5億2300万円	△9.6%	全員賛成
	簡易水道事業	4410万円	4000万円	10.3%	全員賛成
	港湾上屋事業	1700万円	1700万円	0%	全員賛成
合計	101億3410万円	102億5940万円	△1.2%	-	

◎29年度の予算と主な事業

※抜粋したもの

●総務費

- 離島交流活性化事業40万円
- 〔島民と島外住民との交流〕
- 都市間交流事業

152万円

- 〔神奈川県海老名市との交流〕
- 空き家対策事業

1154万円

- 〔空き家の改修や解体に対する補助〕
- 町有施設解体事業

9166万円

- 〔羽幌保育園・旧火葬場・旧北町団地・焼尻支所前倉庫他〕
- 民間賃貸集合住宅建設促進事業

2400万円

- 〔民間が建設する賃貸住宅への補助金制度〕
- 民生費

986万円

- 老人福祉センター施設管理事業
- 〔暖房設備改修・照明機器LED取替工事〕
- シングルペアレント移住雇用マッチング事業

600万円

- 〔シングルマザーの受け入れ事業支援〕
- 老人入浴サービス事業

28万円

- 〔高齢者のサンセットプラザ入浴費用に対する補助〕
- 地域おこし協力隊事業（健康支援）

797万円

- 〔天売焼尻各1名の協力隊活動経費（高齢者の活動支援・子育て支援等のサポート）〕
- 衛生費

4070万円

- 医師確保対策事業
- 〔医師研究資金等貸付他〕
- 助産師・看護師確保対策事業

540万円

- 〔修学資金の貸付事業〕
- 任意予防接種費用助成事業

508万円

- 〔おたふくかぜ、インフルエンザ等の任意予防接種〕
- 農林水産業費

467万円

- 海鳥センター20周年記念事業
- 〔希少海鳥類保護普及啓発用の映像制作、海鳥センター20周年記念事業実施への補助他〕

2879万円

- 畜産担い手育成総合整備事業
- 〔高台地区及び焼尻めん羊牧場の草地の更新他〕

876万円

- 雇促進助成事業
- 〔町内における雇促進のため、新たに求職者を雇用する者に対し助成〕
- 中小企業者持続化支援事業

250万円

- 〔増収が期待できる設備導入・更新や店舗内装等の改修事業に對して補助〕
- 人材育成支援事業

100万円

- 〔各企業等における資格修得事業に對して補助〕
- 土木費

665万円

- 羽幌港施設管理事業
- 〔羽幌港道路（南）街路灯設置及び歩道舗装〕
- 農村公園施設管理事業

1618万円

- 〔おろちゃんランド遊具更新〕
- 消防費

260万円

- ハザードマップ作成事業
- 〔平成23年作成済みの更新〕
- 教育費

290万円

- 文化公演事業
- 〔劇団希望舞台公演・春風亭昇太落語公演〕
- スポーツ公園施設管理事業

897万円

- 〔スポーツ公園排水設備改修に係る設計業務、A球場バツクネット取替等〕

平成29年度予算審査

3月9日開催 予算特別委員会

新年度（29年度）予算案について、3月定例会の中で予算特別委員会（磯野直委員長）を設置し、予算審査が行われ、全会一致で承認されました。その審査質疑の概要を掲載します。

総務費

都市間交流事業

【Q】事業が行われるようになった経緯と具体的内容は。【地域振興課長】町民からの提案があり、神奈川県海老名市と話し合いをし、この事業につながった。内容は7月下旬海老名市で市民まつりに出店する。また、市の駅前連絡所で羽幌の特産品を催事として販売する予定。

住宅改修促進助成事業

【Q】28年度の実績は。また、29年度予算が35件になった理由は。【町民課長】40件の枠の内応募は42件であった。業者の都合で辞退者が5件あり29年度は35件とした。

まちづくり応援寄付金推進事業

【Q】28年度の実績は減った

が29年度はどういう形で推進をしていくのか。

【地域振興課長】町の紹介等PRを行いたいと考えている。秋には札幌でふるさと納税に特化したイベントに参加するほか、雑誌等も利用して、町の魅力を発信したい。

町有施設解体事業

【Q】29年度大幅に予算が増えた理由は。【財務課長】公共施設マネジメント計画の中では2〜3千万であるが、29年度に限り大型予算になった。

集会所施設管理事業

【Q】公共施設マネジメント計画では統合施設であるが、修繕に至った経緯は。【財務課長】最終的には集約をするが、使える間はしっかりと安全に使ってほしい。危険

な状況では問題があるため予算付けをした。

離島交流活性化事業

【Q】29年度の具体的な事業内容は。【地域振興課長】島の民間団体が、島外（札幌・旭川等）の子供達を呼んで体験、交流させる事業に対しての補助。

離島定住促進事業

【Q】具体的な事業内容は。【地域振興課長】島の子供達に新聞づくりを通して郷土愛を育んでもらう。また、他の地域の子供達との交流を通してあらためて島の素晴らしさを再認識してもらおう。テレビ電話や、お互い地域を行き来するなどの交流を行うもの。

町有財産管理事業

【Q】買い取る場所と面積は。【財務課長】消防署裏の訓練塔がある所の一部で面積は243㎡。

羽幌町エコアイランド構想事業

【Q】毎年予算計上されているがほぼ執行されていない。29年度の内容とPRの仕方は。

【地域振興課長】風力、太陽光、エコカーなどの導入に対する補助。推進の方法として導入できるエコカーを持ち込み、改めて補助内容の説明をする。学校に設置した風車、太陽光が数年経つため、保守点検を行う。

地域おこし協力隊

【Q】29年度何人募集し、どう働きかけをしていくのか。【地域振興課長】4月から4名内定しているが、2名を再募集する。内定の2名は東京のイベントの来場者で、そこで本町のことを始めて知った方もいる。このような場を有効に利用していきたい。

民生費

シングルペアレント移住雇用マッチング事業

【Q】28年度モデル事業として何人の応募があり、29年度はどんな内容で行うのか。【福祉課子ども係長】1月から募集し4月からの受け入れに1名の応募があり、29年度より受け入れ、30年度の受け入れに向けて、数名程度、再度募集をして取り進める。

【Q】今回の方は、福祉関係の仕事に就くそうだが、民間企業との連携は取らないのか。また、独身男性との出会いの場づくりは。

【福祉課子ども係長】民間企業との連携も視野に入れていく。また独身男性との出会いの場などについても事業推進の主体となる組織体制を確立した中で検討して行きたい。

「夢のフトン」等プレゼント事業

【Q】新生児へのプレゼントとして、本当に喜ばれているのか、アンケートをとっては。【福祉課長】28年の1〜3月に意見を聞いている、好評であるがサイズが小さいとか、薄いとの声もあった。また「夢のフトン」は羊毛の再利用も兼ねて行っている。

子育て支援センター運営事業

【Q】29年度より何名体制で具体的に拡充する内容は。【福祉課長】5名体制（29年度は4名）で対応する。新たに1歳〜5歳の母子交流事業、在宅訪問、離島への派遣、就学障がい児の移送サービスをを行う。

衛生費

火葬場運営事業

【Q】天売、焼尻の火葬場の運営状況はどのようなになっているのか。

【町民課環境衛生係長】管理人は焼尻が1名で、天売については現在管理人はいない状況となっている。町の方で施設の状態等は確認を行っている。

【Q】最後に火葬場を稼働させたのはいつか。

【町民課環境衛生係長】焼尻が平成23年10月で天売が平成26年5月となっている。

【Q】長期間稼働していないが点検等を行っているのか。

【町民課環境衛生係長】専門業者により隔年で行っている。



天売葬祭場

妊産婦安心出産支援事業

【Q】交通費助成の回数は。

【健康支援課長】定期健診の回数分助成している。

【Q】定期健診以外は含まれないのか。

【健康支援課長】定期健診のみとなっている。

医師確保PR事業

【Q】28年度予算付けをしなから事業を行わなかった理由と、29年度に予算付けした理由は。

【健康支援課長】28年度については道立病院に研修に来た関係もありスケジュール的にも厳しかった。29年度については医師確保において、内灘町との交流もあり予算を付けた。

商工費

プレミアム付き商品券

【Q】29年度に予算付けしなかった理由は。

【町長】国からの補助金もなくなり町単費となったため。

【Q】商工振興事業ではあるが、事業の内容は町民還元事業、と思うが。

【町長】定例会後に検討し、商工会の方に返事をしたい。

観光関連

【Q】高速船3割引きPR活動は、どの程度進んでいるのか。

【商工観光課観光振興係長】5月に観光協会の事業で北広島にてイベントを実施し、沿海フェリーと共同で札幌市の地下歩行空間でPR活動を実施。また昨年同様、札幌駅でのPRを考えている。

【Q】PR活動は時期が大事だと思う。観光や離島振興に関連する団体等と協議を行い進めていただきたい。

【町長】離島振興については単年度ではないため今後も協議をしていきたい。



高速船『さんらいなあ2』

合宿誘致事業

【Q】現時点で、29年度の合宿予約状況は。

【商工観光課長】現時点での合宿予約状況は、高校の野球部3校、バレー部4校、なぎなた部1校、大学のマンドリン部1校、教育旅行として1校となっている。

【Q】離島観光推進のため合宿に来るところに対して、フェリー運賃を補助する等して離島をPRする考えはないのか。

【町長】希望としてはあるが予算の関係上難しい。

企業立地助成事業

【Q】この助成制度について今後、介護や福祉サービスを行う企業等は含めないのか。

【副町長】グループホーム建設に関しては、介護保険事業で補助金を交付しているので、改めて企業支援としては考えてはいない。

【Q】今後、新たな企業が羽幌町にきたときには、条例を改正するのか、それとも町長がその都度判断をするのか。

【副町長】介護保険事業に該当しないときには、個別に判断していきたい。

炭鉱遺産

【Q】留萌振興局が今年1月に発行した『西蝦夷こ路旅』のなかに、羽幌炭鉱遺産ルートが載っているが、羽幌町として炭鉱遺産を活用した事業、管理等はどう考えているのか。

【商工観光課長】町としては直接的な事業は行ってはいないが、観光協会に補助金を出して、炭鉱地区の草刈りや危険な箇所には看板を設置している。

【Q】今後、バスツアーを行っている会社や炭鉱に関係している団体とも連携を取りながら、町としての考えや取組を示していくべきだと思いが。

【商工観光課長】観光にလာれた方に観てもらえるような管理で進めていきたい。



築別炭鉱のホッパー跡

土木費

天売港施設整備工事

【Q】天売港岸壁の係船環や係船柱は老朽化が激しく、しけや強風などでいつ破損してもおかしくない状況だ。その認識はどうか。

【建設課長】町単費で対応しているが、急がれるものは早く対応したい。

農村公園施設管理

【Q】おろちゃんランドに更新される遊具は、どのようなものか。夏場ごろから遊べるよう、工事時期も検討を。



おろちゃんランド

【商工観光課長】築山に物見やぐら、ローラー滑り台を設置、アスレチック的に登る壁面、羽幌保育園にあった2連のブランコも設置する。

なるべく早く、入札工事ができるようにしたい。

【Q】レストパークへも遊具の設置が望まれているが、どうか。

【商工観光課長】あちらにもこちらにもとなると、財政的に難しい。

公営住宅建設事業

【Q】幸町公住建設で、完成後の入居を降雪前に早めてもらいたい。

【建設課主任技師】業者ごとの状況も違い、工事の分割発注もあり、工期の短縮は難しい状況だ。

【町民課長】入居手続きも優先者から順次希望を取り、公募するとなると一定期間を要する。できる限りの対応は検討したい。



幸町公営住宅

公園の在り方・展望

【Q】朝日公園など、町内にあるそれぞれの公園の在り方やコンセプトについて、今後の展望を聞きたい。

【商工観光課長】町民アンケートを取り、管理の在り方、方向性を検討していきたい。

教育費

羽幌小学校施設管理

【Q】次年度も羽幌小学校旧校舎の解体が行われるが、学校給食センターで粉塵問題を発生させないように対策を、どう考えているのか。

【学校管理課長】以前に工事業者と協議しており、今までの経験を活かし、万全の対策を取っていききたい。



学校給食センター

学校でのタブレット導入

【Q】天売小学校でタブレット端末を購入する計画だが、他の学校でも、順次、整備していくのか。

【学校管理課長】焼尻小学校では、すでに購入済み。羽幌小学校で購入した場合、どのように活用するのかなど、検討していきたい。

スポーツ公園施設管理

【Q】スポーツ公園内の砂利道の舗装は、どうなっているのか。

【社会教育課長】長寿命化計画には入っているが、先に排水設備の改修を優先して実施し、道路はそれ以降となる。

地方債

公共施設等適正管理推進事業債

【Q】初めて利用する事業債だが、何の事業に利用するのか。交付税補てんはないのか。

【財務課長】除却債ともいわれるもので、旧羽幌葬祭場と羽幌中学校のプールの解体を行う。交付税補てんはない。

国保事業

特定健診未受診者対策

【Q】特定健診未受診者への「受診勧奨業務委託」は、どのように実施しているのか。効果は上がっているのか。

【健康支援課保健康係長】町外業者に委託。夏季の離島、市街地の健診の後、未受診者にはがきによる勧奨を行う。冬季健診に向けては、委託業者の保健師による電話での働きかけを実施している。受診率は、27年度26%、28年度27.1%。

【健康支援課長】受診率は高いとは思っていない。外部の力も借りて、さらに努力していきたい。

国保事業の都道府県移行

【Q】平成30年度から、国保事業は道に移行される。保険税額がどうなるか、報道でもまちまち。わかる範囲で説明してほしい。

【福祉課長】試算は報道されているものの、確定はされていない。今年9月くらいに道の方針が策定され、12月末頃に標準保険料が提示される予定。必要に応じて、議会にも説明していく。

小寺 光一 議員



問 温泉施設の整備を進めるべき

答 必要な取り組みを実施していく

いきいき交流センターの整備等の推進と活用は

問 施設のメインである温泉施設の整備を計画的に進めるべきでは。

答 今後は財政状況を勘案し、温泉施設を核とした利用者の満足度向上と利用者数の増加に向けた必要な取り組みを実施していく。

問 地域間交流や活力ある地域づくり、各産業へ

の波及効果のある事業やイベントなどの施設使用には、町としてサポートしていくべきでは。

答 事業やイベントの企画者には、情報提供などのサポートを実施する。

問 町民や子供達が集まるスペースも考えては。

答 施設の設置目的からも、不特定の方々が自由に集まり、活動を行う想定はしていないため、専用のスペースは確保できない。



いきいき交流センター
(はぼろ温泉サンセットプラザ)



大浴場 (男湯)

しかし町民、特に子ども達の集まる目的や規模にもよるが、休憩や待ち合わせ程度であれば、1階ロビーや温泉側の休憩場所が利用できる。また集える場所として中央公民館が利用できる。

せひ道の駅の機能やバラ園のトイレを含めて、どういう形が羽幌町にとっていい施設になるのか、町民にとってそこが交流の場として使いやすいのか、集まることも目的の一つとして使えるように今後検討して欲しい。

問 いきいき交流センターの目的と道の駅の機能とを合わせ持ったことによつて、またこの20年という時間の経過も含めて利用の現実が少しずつずれてきたのではないか。

答 利用の促進を図り、観光の拠点となるよう、改修等も含めて実施していきたい。

いきいき交流センターとは

羽幌町民の健康を増進する場並びに、若者たちを中心とした地域間交流や研修等で活力ある地域づくりを促進する場。(羽幌町いきいき交流センターの設置及び管理に関する条例 第1条【趣旨】より)
平成6年12月にオープンした。

道の駅とは

道路利用者のための【休憩機能】、道路利用者や地域の人々のための【情報発信機能】、道の駅を核としてその地域の町同士が連携する【地域の連携機能】という3つの機能をあわせ持つ施設。

「道の駅ほっと♡はぼろ」は平成10年4月に道の駅として登録された。

阿部 和也 議員



問 住宅建設に対して補助制度を

答 町内業者を選択してもらえる施策を検討

建築業の現状と住宅施策

問 28年度の民間の戸建住宅、共同住宅の建築確認申請受付件数は何件だったのか。

答 戸建住宅が9件、共同住宅が1件となっている。

問 この内、地元業者による申請は何件だったのか。

答 地元業者からの申請は戸建住宅が2件、共同住宅が1件となっている。

問 新築工事の多くが町外業者に流れているという

ことになる。町として町外業者に流れる原因はどのようなことにあると考えているのか。

答 考えられることとしてはデザイン、業者からの見積もりがわかりやすい、要望内容に添えてくれる等が要因だと考えられる。

問 住宅建設の促進を目的とした新築住宅建設補助等、住宅建設に関連する補助制度等を考えていくべきだと思いが。

答 町内業者に対し、共同でのモデルハウスの建設により、技術力を町民に理解していただくような事業の投げかけもした。住宅建設に対する直接的補助ではなく、町内業者を選択してもらえような施策を検討したいと考えている。

問 共同でのモデルハウス建設の事業については、町側から提案しただけなのか、それとも経費の一部でも負担するとの投げかけだったのか。

答 数年前になるが、町として協力できる範囲で検討したいと伝えている。

問 住宅建設に対して直接的な補助をするのではなく町内業者を選択してもらえる施策の検討は、現時点でどのようなことが考えられるのか。

答 現在そういう方向性というところで考えているところだ。

問 民間建設工事の促進を目的とした、民間賃貸住宅促進助成制度だが、残りの制度実施期間内で、業者への助成制度の変更等は考えているのか。

答 制度利用に踏み切れない業者等に対しては、意見等を聞きながら、制度利用の促進を図っていききたい。

問 公営住宅で今後課題となるのが、建設費と家賃のバランスだと考ええるが、次期の公営住宅長寿

命化計画に向けて何か考えていることはあるのか。

答 平屋のみではなく、2階建て等も含めて、効率も良く管理のしやすい建設を次期計画で検討したい。

意見 地元建築業者に対しての支援もしつつ、公営住宅に住む方の事も考えた住宅施策を今後は期待している。

問 公営住宅で今後課題となるのが、建設費と家賃のバランスだと考ええるが、次期の公営住宅長寿

命化計画に向けて何か考えていることはあるのか。

答 平屋のみではなく、2階建て等も含めて、効率も良く管理のしやすい建設を次期計画で検討したい。

意見 地元建築業者に対しての支援もしつつ、公営住宅に住む方の事も考えた住宅施策を今後は期待している。



建設工事中の幸町団地（28年度）



用途廃止となる北町団地2号棟

金木直文 議員



問 ハートタウンの安定経営を

答 各店舗の協力を得て、対策を検討

ハートタウンの賃貸料改定と今後の展望

問 (1)賃貸料が引き上げとなった生協との交渉について、交渉期間と回数、交渉場所、誰と誰が話し合ったのか。

(2)生協との話し合いでの争点や合意を得るまでの経過はどうか。

(3)これからの推計人口を考えると、収支計画に示した安定経営は難しいのではないかと。対策や戦略を考えているか。

答 (1)昨年11月下旬から今年2月上旬にかけて、旭川市内の生協旭川地区本部、役場会議室、札幌市内の生協本部において3回行った。町側は商工観光課長、生協側は旭川地区本部長、執行役員である開発本部長らが行った。(2)生協側は、現在の契約金額が破格の金額であることは十分承知しているものの、出店に伴う設備投資もあり、現状でも赤字であること、現在の契約金額から約4倍になることから、今後の見直し

が立たなくなるとの回答だった。再度の話し合いで、店舗経営への影響が大きいものの、町の立場も理解できるとし、現在の2倍の賃貸料であれば応じられるとの回答を得た。その後、施設内の各店舗に説明し、集客力に大きな役割を果たしていることや、段階的な増額改定が一般的であるとの理解を示し、生協からの回答額を受諾した。

(3)施設の維持管理経費、賃貸料を施設運営に必要な最低限額とすることによる各店舗の経費の圧縮や、施設内の店舗と協力しながら快適な施設状況を保ち、買い物客から選ばれる施設運営をするなどが考えられる。施設内の店舗のみに特化した戦略を町が策定することは困難。



ハートタウンはぼろ

公共施設マネジメント計画の取り組み

問 「公共施設中長期整備計画」は、どういったねらいで作成されるのか。

答 29年度はいきいき交流センターの建物劣化診断、中長期整備計画の作成を委託するもの。具体的に各施設の維持管理を行っていくためには個別計画を持つ必要があり、特にいきいき交流センターのような大規模施設は、中長期的な視点をもった個別計画を作成し、進め



羽幌町役場庁舎

ていく必要がある。

問 耐震化が未了の施設について、国の新制度が決定されることを見越し、検討を開始すべき。

答 役場庁舎建替は、補助金や交付税措置の財源がなく、マネジメント計画では平成39年度から基本構想を開始する予定となっているが、新たな制度により財源措置が設けられた場合、耐震化や防災対策等、総合的な判断のもと、計画の前倒しも視野に入れた計画の見直しも必要と考える。

村田 定人 議員



問 公共交通機関の見直しを

答 有効な手段がないか検討する



町内巡回バス『ほっと号』

公共交通の役割

問 町内循環バス、スクールバス、羽幌港連絡バスが、運行されているが、市民の足としては充分とは思われない。高齢化率も40%を超え、これからますます高齢化社会になり、住みよい町にするためには交通弱者対策が、重要課題である中、現在の公共交通機関で充分役割を果たしているか。

答 ほっと号の利用状況は、4月から10月までは月平均約320人と年平均並みとなっており、11月から1月については、月平均約490人の利用と、昨年度と比較し月平均約100人の増加となっている。今年度より運行便数を1便増やした事が大きな要因である。スクールバスの利用状況は、1月末現在4087人で昨年より72人の減少。また、羽幌港連絡バスの利用状況は、1月末現在で1644人であり、若干の減少傾向にあるが決して十

分とは言えないが、一定程度の役割は果たしている。

問 28年4月から、ほっと号が65歳以上無料となったが上半期の状況では利用者が増えていない。無料であっても路線の近くの住民しか利用できない。利用できない住民はタクシーを使わなくてはならず、公平性に欠けているのでは。

答 今年度においては、少しでも多くの市民に利用してほしく、運行時間

回数、経路等について運行事業者と検討したが有効な手段が見つかったのではない。今後もしいろいろな角度により検討する。

問 運転免許保持者の中に、80歳以上の方が増えてきている。免許証を返納したくても不便になるため、危ないと思っっている。返せない人が増えている。このような事も含め、デマンドタクシー等当町に合った新たな交通弱者対策を行っては。

答 交通弱者となり得る障がい者に対して現在、タクシーの初乗り分について助成しており、同じく交通弱者とされる高齢者の対策については、免許証返納の推進も併せ検討していく。またデマンドタクシーの導入等については、循環バスやスクールバスとの関係やタクシー業者への影響、さらには各種福祉施策との関連も含め、総合的に検討する。



羽幌港連絡バス『観音崎らいな号』

問 29年度、各課と協議しバス会社、タクシー業者、住民等との話し合いをして、30年度には試験運行するぐらいのスピード感を持って取り進めたい。

答 新年度に入ったら関連課と協議し、場合によっては住民からも意見をいただきながら、既存のものにとらわれず、総合的に有効な手段がないか検討を始める。

総務産業常任委員会

(2月14日開催)

◆商工業の現状と対策

町内商工業者向けの雇用促進助成制度、中小企業特別融資制度、製造業水道料金補助制度、企業振興促進助成制度、中小企業者等販路拡大事業制度などの活用状況について説明を受けた。また、今後の対策として、新製品開発支援事業では新製品、新サービス開発にかかる費用50万円以上を30万円以上に緩和、雇用促進助成では農水畜産業のうち、法人事業者を対象に拡大することなどが示された。

《主な質疑》

【質問】水道料金補助で製造業に限定しているのは公平感に欠けるのではないか。見直す考えはないか。

【回答】水道料金がかさむために製品の製造を抑えることなく、事業を活発に行ってもらうための補助であり、製造業に特化している。

【質問】商工会からも要望が出ていたプレミアム商品券補助制度がなくなっているが、

地域の消費活動の底上げを、どう考えているのか。

【回答】どのように消費効果が上がっているのか、把握しづらく、利用してきた交付金もなくなった。もっと長期間消費行動につながる対策を商工会と協議していきたい。

◆養豚業の事業拡大

町内高台地区で営業されている(株)北海道中央牧場の羽幌農場で、現在の種豚育成から繁殖生産基地として子豚の生産、出荷を行う事業規模の拡大が計画されているという説明があった。町としても、企業誘致的な観点から、製造業と同程度の支援をしていきたいと考えている。

《主な質疑》

【質問】悪臭の心配はないか。

【回答】同規模の千歳農場を訪問したが、養豚というイメージからしてはにおいは少ないと感じた。会社としても最大限注意を払うと聞いている。

【質問】17名ほどの雇用予定だが、住宅の確保は、どうか。



北海道中央牧場の計画概要書

【回答】民間アパート建設補助制度などの情報提供をしており、会社側で検討している状況と考える。

(2月21日開催)

◆国道轄港整備

平成28年度に実施した事業としては、船揚場(南)斜路工、防波堤、物揚場の本体ブロック製作など。29年度では、船揚場の完成、防波堤の本体工を予定し、30年度以降の予定事業についても説明された。

《主な質疑》

【質問】フェリーの旧岸壁への避難日数は、どうか。

【回答】27年は75日、28年は70日、今年1月と2月で21日となっている。

【質問】防波堤は工事中中だが、避難への影響や効果はど

うか。

【回答】完成部分は50メートル中、12メートルで、まだ国とは協議できていない。



工事中の船揚場(南)斜路

◆除排雪状況の途中経過

今冬の1月末までの稼働状況、苦情件数、雪捨場の現況などについて、説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】民有地を借りて、一時的な堆雪場として利用するといった対策は、どうか。

【回答】利用状況は把握していない。管理上、把握に努めたい。

【質問】除雪費用の支出は、どのようにされているのか。

【回答】稼働状況の報告を月ごとにもらい、それに応じた額を支払っている。もしも稼働が少なければ、契約金額より下がることもあり得る。

中心市街地活性化等調査研究特別委員会

(2月24日開催)

◆ハートタウンはぼる 賃貸料等の改定

新たな賃貸料について、算定の考え方や賃貸額などの説明を受けた。月額で、生協は47万6280円、八幡屋7万7907円、ストアアーク4万4686円、au9万5409円。算定基準でいくと生協が現行の約4倍となることから、協議の上、次期については現行の2倍とした。

《主な質疑》

【質問】激変緩和措置の生協には、次期(2年後)契約時は正規でいきたい考えを伝えないと、生協としても計画を立てづらいのではないか。

【回答】基本的には伝えてある。生協も、現在は破格の金額だという認識である。

【質問】稼働日数が少なくても、ある程度の保障がなければ、生活が心配される。見直す必要はないか。

【回答】契約の仕方を検討したい。

文教厚生常任委員会

(1月31日開催)

◆介護保険地域支援事業

担当課より介護保険制度改正による今後の状況、平成29年4月から実施の介護予防・日常生活支援総合事業等についての説明を受けた。

(2月1日開催)

◆学校給食の一時休止

担当課より粉塵等の発生の経緯と今後の対応についての説明を受けた。空調機械の撤去・分解清掃に約260万円、ダクト内の清掃に約350万円、空調機械の更新作業に約3200万円かかる。その後質疑を行った。

○経緯

1月12日・13日 調理室内清掃。

1月16日 中学校給食実施。

・調理・後始末後清掃を実施したが粉塵等はない状況。

1月17日 小学校・中学校給食実施。

・調理・後始末後の清掃時に粉塵等の侵入を確認。

・関係者で粉塵等の確認と調査を実施。

・粉塵等には錆、チリ、ホコリ、コンクリートの粉塵が見られた。平成27年9月の学校解体工事の際に侵入したコンクリート粉塵が空調内に残っていたものが侵入したと考えられる。

・1月18日 消毒清掃後に空調設備稼働により、再度粉塵等を確認。

1月19日・20日 調理の必要のない簡易給食のメニューに変更。

・空調機械内の清掃と調理室内送風口への油性フィルター設置。

・1月23日～27日まで給食中止を決定。

1月27日 1月30日～2月13日まで給食中止を決定。

1月31日 保護者説明会。

○今後の対応

①空調機械(換気を行う機械本体)の作業。

・サーモコイルの撤去
・吸気ファンの分解清掃



厨房内の仮設ダクト設置



観光協会HP内の広告

・蒸気コイルの清掃

・ジョットヒーターの設置

②ダクト(空調機械から調理室内に空気を送り、排気する管)内の作業。

・コンプレッサーによる特殊装置でのダクトの清掃。

③空調機械の更新作業。

・空調機械は平成5年に設置されたもので、各部品も老朽化が進んでいるため、機械全体を更新する。

○今後のスケジュール

2月4日 空調機械内の作業

2月6日～10日 ダクト内の作業

2月11日～12日 空調設備の調整・確認

2月14日 給食再開

《主な質疑》

【質問】定期的なメンテナンスを行っているのか。

【回答】年2回、フィルターの交換と保守点検を実施。

【質問】3200万円の機械の更新以外の方法での検討は。

【回答】調理室内の温度・湿度については、規程があるため、同様の機械を設置する必要がある。

【質問】業者に対し負担を求める場合もあり得るのか。

【回答】考えは持っている。

◆高速船運賃割引事業

担当課より平成28年度の実績と来年度の高速船3割引事業の方向性の説明を受けた。平成29年6月～8月の3カ月間、高速船の3割引を実施する。ポスターの掲示場所・掲示内容にも工夫を行う。

(2月15日開催)

◆グループホーム見学

グループホーム陽だまりの家を視察し、施設の説明を受けた。



グループホーム陽だまりの家

医療問題調査

研究特別委員会

(2月16日開催)

◆離島の診療体制

天売診療所の医師が3月末で退職されることになり、1月末までの勤務となっている。天売診療所では2月、3月は派遣による医師の診療となる。4月以降の常勤医師の確保を北海道にお願いしている。現状についての説明を受けた。

【要望】住民の不安、医療現場や救急対応に携わる職員の方々の不安もある。更なる努力を願いたい。